2012 年度 入社式 社長メッセージ

日新火災海上保険株式会社(取締役社長 宮島 洋)は、4月2日午前9時30分より、東京本社にて入社式を行いました。

社長の宮島 洋が、新入社員 31 名(全国型 22 名、地域型 9 名) に向けて発信したメッセージは以下のとおりです。

はじめに

おはようございます。日新火災の全役職員を代表して、皆さんの入社を心からお祝い申し上げます。昨年は東日本大震災という未曾有の災害が発生し、東北地方を中心に甚大な被害を及ぼしました。当社においても損害保険会社という立場のもと、適正かつ迅速な保険金のお支払いに尽力して参りました。あれから1年が経ちましたが、本格的な復興にはまだまだ時間がかかると言われています。皆さんはそのようなさなか、まさに復興元年という大変意義のある年にこの損害保険という業界に身を投じたわけです。そのような年に当社に入社されたこと、また、東京海上グループの一員になったという二重の意味においても、改めて心から歓迎の意を表します。

損害保険会社で働くことの意義

皆さんはこれから長い間当社で仕事をしていくことになりますが、今後、仕事をしていく上で一番大切なことは、自らの仕事に「働きがい」を持ち、仕事を通じて社会に貢献していくことだと思います。今回の東日本大震災においても、損害保険業界は適正・迅速な保険金支払いをするために、総力を挙げた対応を行ないました。被災者の生活安定に寄与するという社会的使命に応えるべく、保険金のお支払いを通じて、社会に大いに貢献することができたといえるでしょう。

また、保険という商品は手に取って見えるものではありませんので、その商品を販売するにはお客さまからの信頼が不可欠である点、損害保険業界とは安心と信頼で成り立っている業界といえます。皆さんはこのような社会的信頼の上に成り立ち、社会に貢献できる業界を就職先として選ばれたことに、ぜひ自覚と自信を持っていただきたいと思います。

当社の企業像について

損害保険業界は業界の再編により、いわゆる 3 メガ損保グループに集約されました。 その中で、当社は東京海上グループの一員となり、グループの中では国内リテール市 場に特化した損害保険会社としての役割を担っています。その国内リテール市場で存在 感を高め、「お客さま本位」のトップランナー、すなわち「お客さまの立場に立って仕 事をする会社」として業界 No.1 を目指しています。

そのためには損害保険サービス業に徹しなければなりません。保険会社はサービス業であり、常にお客さまの立場に立って考えること、そしてどのようにお客さまに最適なサービスを提供するか、ということを常に考えて行動することが重要と考えています。サービスを提供するのは社員一人ひとりであり、そのためには当社が掲げる「あるべき人材像」という8つの基本行動を実践していくことが大切です。皆さんもこれから、自分は「あるべき人材像」に沿ってどのように行動すれば良いのかを考え、突き詰めていってほしいと思います。そして、日新火災のどの分野の仕事に就いたとしても、ぜひそのことを意識して仕事をしていただきたいと思います。

新入社員に求めること

新入社員の皆さんに望むことを4つ挙げます。

一つ目は、職場で最も若い皆さんが、職場全体に元気を与えてほしいということです。 当社の「あるべき人材像~ありがとうと言っていただける人」を実現するためにも、どの ような職場に行っても、元気に挨拶、笑顔を意識してください。挨拶、笑顔、元気につい ては、皆さんが一番力を持っています。その力で、職場を明るく元気にしてください。

二つ目は、実践と勉強を通じてプロフェッショナルな人材になるということです。プロの仕事をするために、自ら進んで勉強するという意識を持ち、日々努力をしてください。 そのために、若いうちから自分を磨くための投資をしてください。また社内外の人と積極的に交流し人間関係を築いていくことも大切です。

三つ目は、常に「何のためにその仕事をやっているのか」を、自分の頭で考える習慣を 身につけてください。主体的に考えて仕事に取り組んでいれば、目的を達成するためのよ り良い方法を発見することもあるでしょう。そうなると働きがいも増し、仕事が楽しくな ります。

四つ目は、お客さま、代理店さん、上司、先輩など、今後接することになるすべての人に対して常に感謝の気持ちを持ち、そして常に相手の立場に立って相手をおもんばかれる人になってください。

最後に

これからの会社生活においては社会人としての自覚と責任を持ち、心身共に健康を維持してください。そして一人ひとりが信頼される社員として活躍されることを祈念して、私の歓迎の挨拶といたします。